

## 平成24年度第5回富士見市市民参加及び協働推進市民懇談会会議録

○日 時 平成25年3月11日（月曜日） 午後7時00分～8時57分

○場 所 市長公室

○出席者

- ・市民懇談会委員 岩田委員長、島谷副委員長、高橋委員、小寺委員、野崎委員、清水委員、有賀委員、池田委員
- ・事務局 【協働推進課】 栗原課長、吉岡副課長、水口主査

○欠席者

- ・市民懇談会委員 吉原委員

○傍聴者なし

| 内 容   |
|---|
| <p>1 開会</p> <p>2 あいさつ 岩田委員長</p> <p>3 議題</p> <p>(1)協議事項</p> <p>①協働事業提案制度について（まとめ）</p> <p>資料：『富士見市の協働によるまちづくり事業の推進にむけた提言書～協働事業提案制度について～』（案）</p> <p>事務局から資料に基づき説明を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・表紙部分 タイトル</li><li>・1ページ「はじめに」</li><li>・2ページ「1. 協働事業提案制度とは」</li></ul> <p>まで、異議なし、全委員了承。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・2ページ「2. 協働事業提案制度の意義」</li></ul> <p>委 員：3番の文章で、「人の心にうるおいとやすらぎを与え」と個人を表すよりも「人々の心に」と複数人の表現にした方が、誰もが理解しやすいと思う。</p> <p>委 員：「～ひらめきを生み出し」を「～ひらめきを生み出すことから」に表現を改めた方が文のつながりがよくなるのではないかと。</p> <p>委 員：異議なし、了承。</p> |

委員長：「自然の営みは～つながるまちづくりを目指す。」という文章には、違和感がないか。

委員：1番2番の文章の結びが「～進める。」なので、3番も「～進める。」にあわせると良いのではないか。

- ・ 3ページ「3. 基本的なスタンス」

事務局：「三つのまちづくりの基本理念のもと」は、第5次基本構想の基本理念を指しているので、冒頭に第5次基本構想という言葉を入れた方がいいか。

委員：了承。

事務局：「三つ」の文字は漢数字でよいか

委員：「3つ」のほうが読みやすいからアラビア数字に改める。

- ・ 4ページ「4. 協働事業提案制度の概要」

事務局：「応募資格」とた「対象となる事業」の文字をゴシック体に改める。

委員：了承。

事務局：「対象となる事業」の2番、「4月から翌年3月末日までの間に実施する事業であること。」は、5ページの「事業期間」と重複するので削除してよいか。

委員：異議なし、了承。

- ・ 5ページ「募集する事業要件」

委員：2番、「～市民サービスの向上が図られる事業」とあるが、「図ることができる事業」としたほうが理解しやすい。

委員：異議なし、了承。

- ・ 同ページ「事業期間」

事務局：「～4月1日から3月31日まで～」を「～4月1日から翌年3月31日まで」と修正したい。

委員：異議なし、了承。

- ・ 同ページ「経費負担」

事務局：より丁寧な文章にするため2番、「市が負担する金額について、あらかじめ限度額を設けない。」の冒頭に「提案を募集する際、」と加え、3番の「実施事業費について、市の負担が必要となる場合には、予算の範囲内で負担する。」の冒頭に「採用された提案の」と加えたい方がいいか。

委員：異議なし、了承。

- ・ 7ページ「事業の決定」

委員長：採用されたもの、不採用のもの、どちらにも結果を通知してほしい。

事務局：どちらにも通知する。

委員：文章の冒頭に箇条書きの「・」はわかりやすいが、文章の途中に「・」があるとまぎらわしいと思う。

事務局：「・」を「と」に修正する。

- ・ 8ページ「応募資格」

委員：2番、「主体的にかかわる意思がある方」よりも「～ある者」の方が、

全体の文章の流れが自然である。

事務局：修正する。

- ・ 9ページ「手続きの流れ」

事務局：「決定契約」を「決定」に改め、各手続きの説明文を文頭でそろえて見やすいように整理する。

委員：了承。

- ・ 10ページ「審査のポイント」

委員：異議なし、了承。

- ・ 同ページ 「協働事業実施の経費」

委員：「対象経費の例」に備品購入費があるが、事業実施のために備品を購入した場合、事業が終了した後の取扱いはどうするのか。

事務局：備品の種類も様々なので、購入した備品の概念付けを考える必要がある。

委員：「対象外経費の例」の「弁当、茶菓代」とあるが、ほかにも対象外になるものが考えられるので「弁当、茶菓代など」とした方がよい。

- ・ 12ページ「協働事業実施の際の課題と期待される効果」

事務局：ページ見出しの番号を「4」から「5」に改める。

委員：了承。

委員：「1. 企画段階への参画」の効果について、文章に違和感がある。

委員：「市の持つ行政力で解決の方策を探り」は不適當である。「市との協働により解決につながる。」の方が適切である。

委員：「2. 事業目的の共有」の効果について、接続語「の」が多いので減らしたほうがよい。

事務局：課題には「事業の目的」としかないので、効果から「目標」を削除したい。「目的の共通理解と確認につながる。」に改める。

委員：了承。

委員長：個人が簡単に提案できる制度をもちこんでもらえたらよいものにつながる。

## (2) 平成25年度のスケジュールについて

事務局から資料に基づき説明を行った。

事務局：この提言書については、3月25日に開催する市民参加及び協働推進庁内委員会での意見を聞き、内容が大きく変わるようであれば、5月の市民懇談会で再度検討を要するが、変わらなければ、その後の手順について4月中に正副委員長と調整したい。また、平成25年度は、富士見市自治基本条例の見直しの年なので、市民懇談会では見直しについての提言を行う。ポイントとしては、第5章 市民参加及び協働のまちづくりの推進の部分について、取組みを実践し、制度を取り入れた場合の基本条例を検証する。現委員は、平成25年7月31日に任期満了を迎え、それに伴い委員選任があるが、現委員には25年度第1回目の会議まで宜しくお願いしたい。

委員長：条例の精神が社会情勢に適合しているか、また、協働という言葉が理解され市民に行き渡るように条例の内容を見直す必要はあるかと思う。

(3) その他

次回の会議日程 平成25年5月14日（火曜日）午後7時から市長公室にて

4 閉会 島谷副委員長よりあいさつ